

INTERNATIONAL CHILDHOOD CANCER DAY

2.15 国際小児がんデー



ゴールドリボンは、小児がんの理解と支援を呼びかける世界共通のシンボルマークです。

2月15日は国際小児がんデーです。

世界中で小児がんの子どもたちのための支援を呼びかける活動が展開されています。

子どもにもがんがあります。

ご存じですか？ 小児がんのこと

- 日本では、年間約2,000人の子どもたちが新たに小児がんと診断されています。
- 種類によっては7～8割が治療を終えられますが、一方で子どもの病死原因の第1位であり、年間約500人の尊い命が失われています。
- 大人のがんと異なり、子どもに発生するがんは希少で、生活習慣に起因するものではありません。
- 長期の療養が必要となり、学校や家庭など生活面に様々な影響があります。
- 治療を終えた後も、心身に課題を抱え、自立や就労に困難を伴う場合があります。



CCAJ

公益財団法人 がんの子どもを守る会
Children's Cancer Association of Japan

公益財団法人がんの子どもを守る会は、1968年の創立以来、小児がん患者・家族の会として、がんの子どもと家族を支える活動を続けています。